

勝利の新聞

しばの勝利後援会 草加市北谷2-3-24 TEL 048(946)7300 第48号 平成26年10月

しばの勝利 かつとし



ホームページ: //www.shibano.info/



ご挨拶

草加市政が始まって以来、初めての市長・市議会議員の同日選挙が二十六日投開票で執行されます。人口減が社会問題となってきた昨今、地方行政存続のため大切な時が『今』であります。

草加市の立地条件から考えると、この街は磨けば光る原石です。どのように磨き、どのような街づくりをするのかを考えるのは、私たちの責任です。

子どもたちが社会人となり家庭を持った時、草加に住みたい、住み続けたいと思える施策の一端をご案内し、皆様と共に草加創生を実現して参ります。

何卒、ご指導のほど宜しくお願い申し上げます。末筆乍ら、何よりも健康が一番です。寒暖の差が激しい毎日です、お体にご自愛ください。

元草加市議会議員 五十一代議長

しばの勝利

はじめの一步

「初心を忘れず感謝の気持ち」

子ども達のふるさと 草加の創生

【経歴】

- 昭和42年5月16日生まれ(47歳)
- 最終学歴・拓殖大学商学部卒業
- 家族構成・妻と双子の男の子(社会歴)
- 草加地区保護司
- 株式会社ケーエイチ代表取締役
- 障害者福祉施設 理事長代行
- 社団法人 埼玉県馬主会 監査
- 草加市立小山小学校PTA 前会長
- 元 草加市議会議員

しばの勝利の政策提言

■草加市立病院

医療の世界は聖域、専門的なのでなかなか指摘できないのが現実です。

過日、川口医療センターの人間ドックで検査を行いました。そこで、草加市立病院をより良い方向を見つけることが出来ました。

市立病院の技術レベルは決して低くありませんが、医者と患者、その家族間の考え方に大きなギャップがあることを私は危惧しています。医者も患者も1次医療と2次医療の制度の違いを理解し、医療機関の整備拡充を行う必要があります。

特に終末医療病棟の整備は重要です。



■障害者福祉

本来の福祉は、自立のチャンスを活かせない方に対し社会と共に支え合う事です。

草加市で障害者の為の「ショートステイ」を行っている施設は1箇所です。

私はNPO法人の立ち上げ、施設の開設から携わっています。現場の視点から入所施設整備の必要性を感じています。

行政・企業・各種団体と連携し障害者雇用の拡大を図っていきます。また、障害者の特別養護老人ホームも求められています。実現に向けて一歩足を踏み出していきます。

■教育行政

公立と私立の授業時間の差は歴然です。都心に近い草加市の子どもたちには選択肢がたくさんあります。

この街で安心して勉強できる制度を提案して参ります。

土曜日授業の導入や習熟度別クラス編成の導入をし、一人一人の子供の学力向上を図ります。

■人口減少社会を迎え 今こそ地方分権の推進を

日本は人口減少時代を迎え、昨年的人口自然減は約25万人。このままいくと2050年には1億人を下回り65歳以上の割合が33%になると予想されます。

今こそ、地方の「あり方」が問われています。国は国の役割、地方は地方の役割を分担し、「地域力」を生かした街づくりを目指します。

■スポーツ行政

草加市でも高校野球・プロ野球の試合を

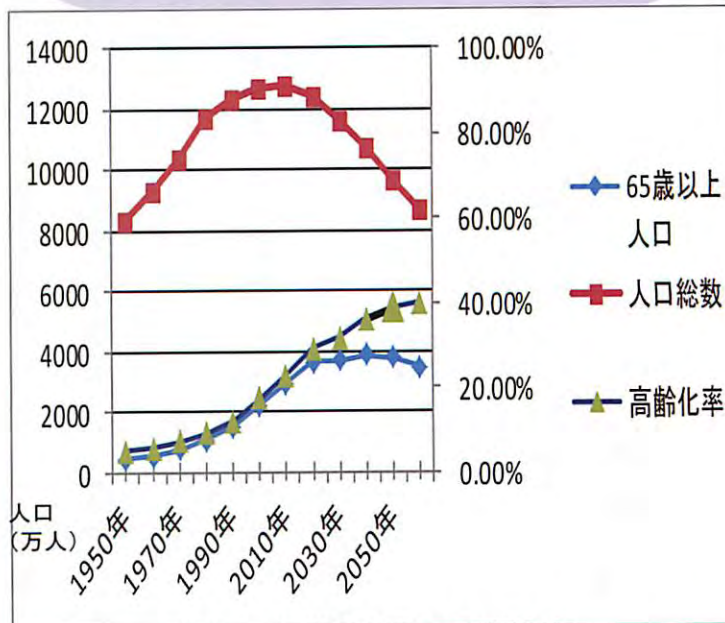
県内人口20万人以上で硬式野球場がないのは草加市のみです。硬式野球場建設し、昼間の空いている時間は、防災公園やグランドゴルフなど多目的に利用できるように整備を目指します。

お気軽にお立ち寄りください。

しばの勝利事務所のご案内

住所：草加市北谷2-3-24

TEL 048-946-7300



出典：厚生労働省「人口動態統計」